

# 高田 本山 だより

102  
号

傳燈奉告法会準備はじまる

一光三尊佛出開帳 来春まで

親鸞聖人ご旧蹟三谷草庵修復なる



リレー法話 

# いのち

正泉寺前坊守 北島妙映

先日、台湾の英文学研究者が来寺されました。前住職と台湾の研究者が仏教について話し合っていましたので、私も仲間に入れてもらいました。前住職は「化身土」という中国語の意味をたずねていました。先生は「私は仏教学者でありませんが」と最初にいわれて、化身土（ファ・シェン・トウ）とは、一般的な意味で「ある場所

へと変わること」であり、化（ファ）とは「教えること」「文明化すること」「よりよくすること」を意味することでした。私たちが暮らしている「現実世界」が「化身土」として捉えられるとき、それは「真実世界」とつながっており、そのつながりを語りかけるのが阿弥陀さまの呼び声なのだと感じました。

そこで私は「寿命」の意味を先生にたずねてみました。先生の説明では、「この世の限りあるいのち」という意味でした。そのとき私には、「帰命無量寿

如来」の呼び声が聞こえました。私たちは、この世で限りある命をわがものとして独占するため、死を恐れるのだと思います。それは限りなきいのち、限りなき慈悲の阿弥陀さまから逃れようとするこ

とによって生まれる恐怖なのだと思えます。この私の命が限りなきいのち（無量寿）とながつていることを思い知らされるとき、今

生きていく私の人生はむなしくなるのではないかと思います。私は先生の言葉に阿弥陀さまの呼び声をきかせていただき、深い感動をおぼえました。



三谷草庵は親鸞聖人が本寺建立の際に滞在された由緒あるところです。

表紙の写真は、六月三日の草庵の修復落慶法会です。奥に安置されているのがご本尊の三尊様の絵像です。



**WEB VERSION**



### 都市開教の先達

山中俊之関東別院輪番が去る五月二十六日にお浄土へと旅だたれました。

私たちもまたその道をつないでまいりましょう。



4/29 ▼

## 興学布教研究大会

学術的な視点から仏法に出会う場です。そんな中で一般の聴聞者も一生懸命お話しに耳を傾けています。ここで発表した代表が6月の真宗連合学会で発表します。



4/21 ◀

## 聞法会 @MieMu

三重県総合博物館で開催されている親鸞展を会場として、聞法会が開催されました。大盛況につき、二班に分けての受講、拝観となりました。



3/25-27 ▶

## 中学生教化合宿

春休みを利用して栃木の本寺専修寺にお参りいたしました。募集開始から1日をたらずに定員になってしまった人気の合宿です。来春も開催予定ですので、是非ご参加を。



5/19 ◀

## 檀信徒研修会

引き続き、高田派中興の祖である、真慧上人をテーマにとりあげ、研鑽をつみました。野袈裟などの特徴ある仏具を通して、高田派の風俗を感じられました。



4/19 ◀

## はなまつり

子どもたちのはなまつり。今年もお天気に恵まれ、白ゾウをひいて寺内町をまわります。お釈迦さまに甘茶をかけて、誕生をみんなでお祝いいたしました。

老若男女相集う、これもまたみな仏縁でございます。

WEB VERSION



5/21 ▼

## 親鸞聖人降誕会

親鸞聖人の誕生を皆でお祝いします。聖人と同じ90歳の男子の方々に祖師寿のお祝いが贈られました。該当者200余名のうち40名が元気に参詣されています。



5/28 ▲

## 中開帳無事終わる

善光寺での三尊佛ご開帳期間にあわせて、長期間にわたり特別ご開扉となっていました。来春のご開帳を最後にまた17年お会いできなくなってしまいます。



5/9-10 ▲

## 高田派青年のつどい

本山の地元、三重県で開催された大会で、80名を超える若手僧侶が集まりました。後継問題も多発する中、高田派の未来は前途洋々に思えます。



5/25-26 ◀

## 坊守研修会

本山での一光三尊佛ご開帳にちなみ、善光寺、元善光寺へと研修に出かけました。宿泊先の淵之坊には高田派ゆかりの一光三尊佛絵伝が掲げられているご縁に驚きました。



忙しさを心で亡くさないように日々過ごしましょう。

WEB VERSION

## 正覚寺

新築落慶からちょうど三年で三尊様をお迎えさせていただくことになりました。

昨年十一月に坊守である母の急逝があり、準備段階で遅れをとっていました。しかし開けてみれば、お輿を担ぐ若衆も手を挙げていただき意外と簡単に決まりましたし、ネット経由での一般参加の申し込みも結構ありました。法会についても大阪組で以前から練習と打ち合わせを積んできたものもしっかり出せました。檀家さんは、「想定外だった、これほどとは思わなかった」とい

い、ご主人が病気のため一人でおいでになった奥さんが、「帰って主人に報告するに、感動で泣けてなかなかうまく話せなかった」と。

今回三尊様をお迎えできたことは私にとって、檀信徒にとつて、組内会にとつても貴重な経験になりました。この素晴らしい経験を明日へつないでいくべきと強く感じております。 住職 松原俊幸



## 彰見寺

春彼岸のうららかな陽光のもと、一光三尊佛をお迎えし、雅楽の音とともに、かわいいお稚児さんの行列も賑やかに境内に到着しました。

続いて、お稚児さんはお念珠と蓮の花を手に持ち、緊張した面持ちで本堂内陣にて仏さまのまわりを行道して法会に花を添えて頂きました。

二日目には、法主殿のお出ましを仰ぎ、多くの方に御仏縁を結んで頂きましたことは、この上ない慶びでした。

寺族檀家一同が心をひとつにしての尊い大法会でありました。(写真上)

住職 小妻道生

## ご巡教

二月二十七日、新法主

殿の御巡教を三重十組でお受けしました。

当日は少し寒い日でありましたが、十二ヶ寺、

住職、総代、坊守、婦人会、百五名、清光寺檀信

徒八十名の手伝いを含め二百名あまりが余間まで

満堂となりました。法主殿のご調声にて重誓偈が

堂内に響き渡りました。法主殿は「法主を継承して

日が浅いにもかかわらず、こんなに多数の皆様

が期待をしお集まり頂く事、うれしくおもいます。

高田教団の先頭にたち、親鸞聖人のみ教えを伝え弘めてまいります」とお言葉をいただきました。

拝聴したのも、親鸞聖人のみ教えを次代へと

伝える決意を新たにしました。

お見送りのあと、少しの時間でありましたが、

組内一同に相集う良き機会であり交流会をいたしました。今後も寺院を支

えていただくことをお願いし、余韻を残し散会いたしました。

余談ですが、拙寺には

仏舍利がありご法主殿に

礼拝いただき、大変お喜びいただきました。

三重十組組長 清光寺住職

清原瑞美

## 出開帳に賑わう寺々

専登寺古法会(2015年)

# 法性寺

# 上宮寺

昭和五十八年以来のご勝縁となりました。

小雨の中ご到着、本堂尊前にご敬置、ご開扉の後、前任職の遺影を余間に置き二十七回忌を参詣者と共に厳修。お昼には内陣自由参拝、間近に拝して頂きました。

午後より前法主殿をお迎えし、御親修。御親教では自然法爾のお話を賜り、一同感銘を受けました。

檀信徒一同この度の宿縁を喜ぶ中、すっかり晴れ上がった春の光に生まれながら、前法主殿と三尊さまをお見送りいたしました。住職 眞置和徳



三尊仏の出勤帳も近年では前回、前々回もお迎えして法会を行なっており、今回の出勤帳法会は春の彼岸法会とあわせて二日間法会を行うことといたしました。

一日目は本山から午前十時頃三尊仏輿をお迎えし、御遷座のあと午後より雅楽演奏に始まり御開扉法会が厳かのなかにも華やかにおこなわれました。

二日目は残念ながら雨模様となりましたが午前中の稚児練り行列を一部コースを変え無事行うことができました。その後前日に引き続き法会を行い二日間でも多くの同行の皆様が参列され、内拝による三尊仏のお姿に一同



感激いたし、午後四時頃の御出輿には雨もやみ多くの檀徒がお見送りいたしました。

尚、今回の御開扉に際し檀家の皆様よりいただきました懇志の一部を東日本大震災の復興に寄与いたしました。中日新聞三重支局に寄託いたしました。私たちは三尊仏のご縁をいつまでもいただいきたいと思っております。(写真右)

総代 齋藤常義

## 傳燈奉告法会に向けて

仏教の役割は移り変わる世の中を生きる人間に変わるところのないよりどころを与え恵まれたいのちを精一杯生きるよう導くことではないでしょうか。

眞宗（浄土眞宗）では阿弥陀如来の本願、すなわち南無阿弥陀仏がよりどころです。お念仏を通じて精神的なつながりを保ち支え合う方法を考えていきたいです。

お念仏を申し、共に往生浄土の道を歩ませていただき平和をつないでいきたいと存じます。苔むす山寺にお出ましいただきありがとうございます。

三重九組東・西生寺住職

齋藤妙慧



WEB VERSION

# 夏安居の夏

お盆じゃなくて



## 仏教文化講座

申込み不要で、どなたでも、聴講していただける、仏教文化講座は、暑い真夏の八月一日から五日にかけて高田会館ホールで行われます。仏教基礎講座や法話発表会も開催されますので、どうぞご参加ください。詳しくは高田本山ホームページ (<http://www.senjuji.jp/>) などよりご確認ください。

### 第 89 回 仏教文化講座

8月1日 土曜日 9時半開講式 10時から12時まで

御親講  
前法主殿

8月2日 日曜日 9時から12時まで

日本異霊記の世界 五戒はいかに語られるか  
立正大学教授 三浦佑之 先生

8月3日 月曜日 9時から12時まで

空の発見 ブッダ・龍樹を中心として  
北星学園非常勤講師 石飛道子 先生

8月4日 火曜日 9時から12時まで

いのちのひろがり  
JT 生命誌研究館館長 中村桂子 先生

8月5日 水曜日 9時から12時まで 12時より閉講式

親鸞聖人の和讃に聞く その表現をめぐって  
明通寺住職・高田短期大学仏教教育研究センター研究員 佐波真 先生

会場：高田会館ホール

### 平成 27 年度高田短期大学仏教教育センター

#### 仏教基礎講座

8月17日 月曜日 9時から

8月21日 金曜日 17時50分まで

会場：高田短期大学 321 教室

#### 法話発表会

9月2日 水曜日 10時より

会場：宗務院第一会議室

### 夏の本山行事

八月十四日～十六日

## 歓喜会

九月二十日～二十六日

## 讚佛会

### 傳燈奉告法会事務局開設

常超院住職・藤源清光

さんが局長に就任され、  
来春の法会に向けて準備  
がはじまっています。



### 寺院名

## 小学生合宿

歴史まるごと体験塾  
が今夏も8月5日か  
らの二泊三日で行わ  
れます。まもなく、ご  
案内できる予定です。



三重県津市一身田町  
2819  
真宗高田派本山専修寺

WEB VERSION